



松柏小学校 学校便り

R8. 6. 19 (金)

えがなかちゃん

No. 6

—笑顔・なかま・チャレンジ—

校長 加地孝昌

「命のメッセージ」 防災オンライン学習

6月8日、5.6年生は、東日本大震災の語り部である佐藤敏郎先生（宮城県）とオンラインでつながり、『防災は希望』『防災は命の学習』など、たくさんの大切なメッセージを受け取りました。



震災が起こった日、佐藤先生は中学校教員として卒業式の準備をしていました。突然の巨大地震に襲われ、佐藤先生は、すぐさま生徒を学校裏の高台へ避難させ、津波から命を守ることができました。一方、佐藤先生の娘さんは、児童74名の尊い命が亡くなった大川小学校に通う6年生でした。佐藤先生の娘さんは、そ

の74名の中に含まれており、津波により命を失ってしまいました。



佐藤先生のお話は、「生徒を守った視点」と「最愛の娘を失った父親の視点」の双方の思いが込められていました。地震直後、近くの山へ避難せず、一時間近くたって津波が来る方向へ避難してしまった大川小学校に対し、「大川小学校の先生も必死で子どもを守ろうとした」「今、建物が

残されている大川小学校を見て、未来を考えてほしい。大川小学校は、『未来を拓く学校』と語られ、私が持っていた大川小学校への負のイメージは大きく変えられました。



佐藤先生のお話一つ一つに子どもたちはうなずき、涙を浮かべる児童もいました。

子どもたちが佐藤先生へ書いたお礼の手紙には、多くの方々に読んでいただきたい内容が書かれてありました。

お礼の手紙(佐藤先生に届けます)

- 「会いたくて でも会えなくて 会いたくて」という俳句が心に残りました。
- これからの避難訓練は、自分の大切な家族や人のことを思いながら行おうと思います。
- 防災は、「完璧」を目指すのではなく、「本気」を目指すということが分かりました。
- 大津波は、建物や大切な友達、家族、全て消したけれど、夢や希望は壊せなかった。
- 「夢だけは 壊せなかった 大災害」という俳句が心に残りました。
- 「行動が命を救う」ことを学びました。
- 今日から、「行ってきます。」と言って、必ず生きて帰って、「ただいま。」と言います。
- 未来の自分に言いたいこと。「いのちを大切にしてください。そして、家に帰ったら、近所の人に聞こえるぐらいの大きな声で、『ただいま。』を言ってください。」

校長のつぶやき 「ただいま」の数だけある奇跡

娘さんを津波の被害で亡くされた佐藤先生の言葉は重く、一言一言が、胸に刺さりました。「当たり前がいかにかに尊いか」ということも話をされました。あの日、「ただいま」と言えなかった子どもたちがたくさんいます。あの日、「ただいま」と子どもを迎えられなかった親がたくさんいます。そのことを考えれば、登校班で並んで登校



してくる子どもたちの姿や昼休みに鬼ごっこをしている子どもたちの姿、算数の問題とにらめっこしながら計算をしている子どもたちの姿、その「当たり前の日常」の姿が、「今を全力で生きている姿」であり、かけがえのない宝物であることに気付かされます。



「当たり前のありがたさ」を噛みしめ、子どもたちの命が輝き、元気な声が響き渡る、安全で温かな学校づくりを教職員で力を合わせ、また、保護者の皆様とのつながりを大切にしながら今後も全力で取り組んでまいります。

学校のいろいろな姿を紹介します



教員OBの学習サポート（家庭科）



ボランティアの方による剪定作業



キッズガードの方々との対面式



朝日文化会館祭りでの各学年の発表



校内球技大会（6月7日） 次年度、皆様方のご参加をお待ちしています。（^）/

7月の行事のお知らせ

- 1日（水）今度珠美先生の授業（6年生）A Iの活用法 文部科学省委員
- 3日（金）学年別懇談会（全学年対象です。ご参加よろしくをお願いします。）
- 8日（水）～10日（金）個人懇談会
- 11日（土）水鉄砲大会（6年生）
- 12日（日）資源回収（新聞紙・雑誌などへの回収のご協力をお願いします）
- 13日（月）SNSに関する講演（6年生：体育館）
- 15日（水）プール交流（東幼稚園・松柏保育園） P T A救命救急講習会
- 17日（金）終業式
- 22日（水）市内小学校水泳記録会（エリエールスポーツクラブ）